



自然資本の利用による心豊かな社会の創造

令和3年度における活動実績・成果の概要

- ① 東北大学を拠点としたANEMONE事業では、全国の大学や国立研究所、行政機関等との連携のもと、環境DNA技術を利用した魚類を対象とする生物多様性観測を継続、拡大している（図1）
- ② 日本郵船株式会社の定期航路（日本-オーストラリア）を利用した環境DNA調査の実証実験のほか、アースウォッチ・ジャパンとの連携のもと市民科学調査を2021年に引きつづき成功させた
- ③ 環境DNA観測オープンデータのデータベースANEMONE DBの構築が進められ、2022年6月に一般公開、世界初の環境DNAデータベースの運用を開始した（図2）
- ④ 環境DNA技術を基盤にネイチャーポジティブ実現を目指す産官学のANEMONEコンソーシアム構想を提唱し、2022年6月に産官学主体の参加するコンソーシアムを設立、記者発表を行った
- ⑤ 各研究者による生態系観測が進められる南三陸町では、2021年11月6日に「里海カンファレンス2021 in 南三陸」が開催され、本事業メンバーによる基調講演が行われた
- ⑥ 南三陸町では、自然を基盤とした社会課題解決を目指す「いのちめぐるまち学会」が本事業メンバーも参画して設立された。本事業でも2022年3月9日には、これに呼応する「キックオフミーティング」を開催し、本学研究者や南三陸町で活動するNPO法人、自然環境活用センターのメンバー、学外からの研究者を招き今後の連携や研究展開にむけた活発な議論が行われた
- ⑦ 南三陸町において海藻・海草等により固定される二酸化炭素（ブルーカーボン）や生物多様性を定量評価し、環境クレジットの発行による地域振興を実現するプロジェクトが立案され、東北大-南三陸町-ジャパンプルーカーボンエコノミー3者での連携が開始された
- ⑧ NPO法人FIRST ASCENT JAPAN.との連携のもと、アウトドア愛好家と科学者の協力による生態系保全に向けた取り組みが立案され、コンサベーションアライアンスジャパン「アウトドア環境保護基金」も獲得し、金華山（石巻市）における共同研究実施に向けた準備が開始された

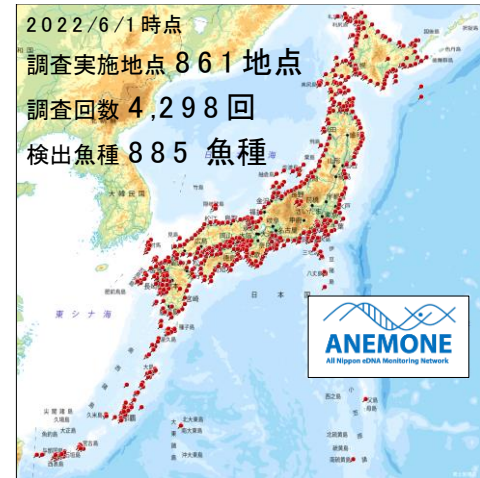


図1. ANEMONE観測によるこれまでの観測点

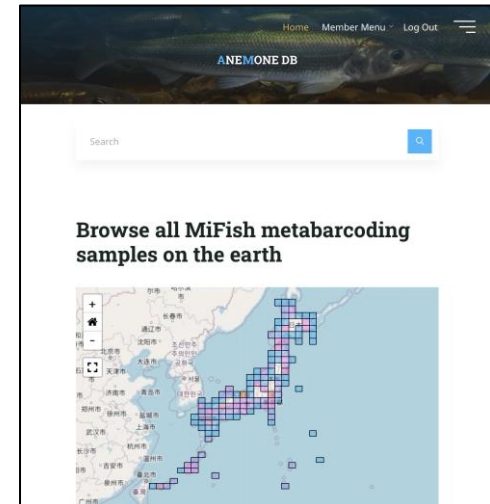


図2. 環境DNAメタバーコーディングデータベース、ANEMONE DB
<https://db.anemone.bio>

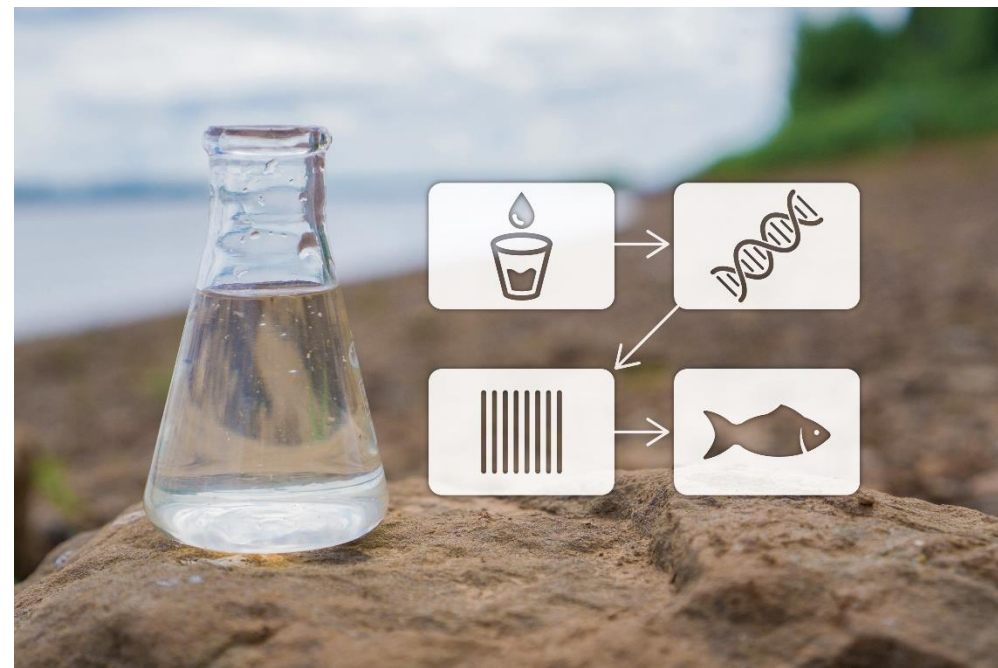


自然資本の利用による心豊かな社会の創造

令和3年度における活動実績・成果の概要

プレスリリース情報はこちらからご覧いただけます

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2022/06/press20220602-01-anemone.html>



ANEMONE イメージ写真